

2022年度 みえの地産地消・食育推進モデル事業 ～ 社食で生産者応援・地産地消を進めよう！ ～

三重県

協力：三重労使雇用支援機構（三重県経営者協会、連合三重）
古河電気工業株式会社 三重事業所

2022年度の取組の紹介 「古河電気工業株式会社 三重事業所」

古河電気工業株式会社三重事業所において、県産食材の消費拡大ならびに、地産地消を切り口とした取組みとして実施している従業員の健康支援イベントの活動を紹介します。

地物一番フェアの開催・地産地消食材を表示

地産地消フェアを開催し、地産地消食材を使用したメニューを提供し、地産地消メニューに「地物一番」マークの表示を行いました。また、食堂利用者が気軽に地産地消メニューを食べられるよう、補助を行いました。



三重県と連携したPR活用のご紹介

三重県が作成した地物一番や県産豚に関するポスター等を、食堂や社員寮に掲示し、食育推進活動のPRを行いました。



県産食材の使用

食堂のお米は、三重県産キヌヒカリを使用しています。また、三重県産の野菜を食堂で使用したり、来客者用のお茶に伊勢茶を使用する等、地産地消の取組を進めています。



食堂業者より

古河電気工業の皆様からのリクエストメニューも取り入れるなどして、より多くのお客様にご利用いただけるよう取り組んでおります。今後も「地物一番」の活動を通じて三重県産食材の魅力を発信し、食育推進・PRに繋げていければと思っております

古河電エグループ福利厚生会社より

日頃から利用する皆様に喜んでいただける取組みを実施できるよう検討しております。この取組みで食育推進を実施し、三重県民だけでなく、他都道府県から勤務に来ている方にも三重県産の食材を知ってもらおう機会を多く作り、三重県産食材の利用を増やしていきたいと思っております。今後も三重の食材を多く取り入れ、おいしい食事地域貢献に繋げてきたいと思っております。

みえの地産地消・食育推進モデル事業とは

県産食材の新たな販路開拓・消費拡大による地域社会への貢献と企業の健康経営の推進を目的として、県内事業所の社員食堂等において、県産食材を使用したメニューの提供や従業員の健康づくりに寄与する食育の実施に向けた取組です。



昨年度の取組をまとめたリーフレットはこちら

地物一番とは

地産地消運動から生まれた「地物一番」。

- ・三重県産品を改めて見直し、オンリーワンという誇りを持てるよう、生産者も消費者も意識して県産品に向き合うこと
 - ・四季を感じ豊かな心を育むためには、身近な地元の旬な食材が一番
 - ・生産者と消費者の結びつきを強めて食に対する安心感を再構築していくためには地元食材が一番
- 様々な地元が一番という思いを込め、「地物一番」のキャンペーンを展開しています。



2021年度 みえの地産地消・食育推進モデル事業「キオクシア株式会社 四日市工場」の取組みのご紹介

2021年度に取組みをご紹介した「キオクシア株式会社四日市工場」では、2022年度も同様の取組が継続して行われています。

「地物一番」マーク・地産地消食材を表示

食堂の利用者が、地産地消食材を身近に感じていただけるよう地産地消食材を使用したメニューは「地物一番」マークの表示を行っています。

また、普段から食材の栄養に関する情報を心がけています。



三重県と連携したPR活用のご紹介

三重県が提供した地物一番や県産米に関するポスターを、各食堂に掲示し、食育推進活動のPRを行っています。



三重県では、「第4次三重県食育推進計画」において、「生活」「地域」「社会」における、生涯を通じた途切れのない食育の実施を掲げており、職場における従業員等の健康に配慮した食育の推進に向けて取り組んでいます。

PR資材の提供や県産食材の仕入れ先となる事業者を紹介させていただきますので、ご希望があれば下記連絡先までご連絡ください。

連絡先（みえの地産地消・食育推進モデル事業）

三重県農林水産部フードイノベーション課

TEL : 059-224-2395 Email : foods@pref.mie.lg.jp